



NEWS RELEASE

報道資料

2007年10月29日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ マーク・ウォーカーを コミュニティアフェア組織の責任者に任命

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター)は10月26日(現地時間)、グローバルコミュニティアフェアのマネージングディレクターにマーク・ウォーカーを任命したことを発表しました。ウォーカーは今後、アプライドの世界的なフィランソロピー活動の責任者ならびにアプライド マテリアルズ財団のエグゼクティブディレクターを務めます。教育と公益の発展ならびに芸術に貢献するアプライドは、人々の生活向上と近隣コミュニティの発展を長年にわたって支援してきました。

ウォーカーは2008年1月にアプライドに入社する予定です。ウォーカーは2002年以来、非営利団体ユナイテッドウェイ シリコンバレーのプレジデント兼 CEO として、戦略策定や基金調達、統率、基金分配などに従事してきました。ユナイテッドウェイは彼の指揮のもとで、従来型の基金調達組織から成果重視型のダイナミックなコミュニティソリューションプロバイダーへと転換を遂げています。ウォーカーはユナイテッドウェイ シリコンバレーの理事会と緊密に協力しながら新しい包括的な戦略プランを策定し、アカウンタビリティや透明性に関する厳格な方針やプロセスを実施して、財務の安定を取り戻した実績を持っています。

「私は長年シリコンバレーで活動してきたので、アプライド マテリアルズがどれほどコミュニティに尽くして影響を及ぼしているかはよく知っています。ユナイテッドウェイ シリコンバレーはすでに財務も健全化し、正しい方向へ進んでいますので、私は今回アプライドに加わる機会を得たことを喜んでいきます」とウォーカーは述べています。

アプライド マテリアルズのコーポレートアフェア担当バイスプレジデント、ジョー・ポンは、ウォーカーについて次のように語っています。「ユナイテッドウェイに大きく貢献しただけでなく、コミュニティとビジネスの両面で経験豊富な彼を、大いに歓迎します。アプライド マテリアルズは従来から、近隣コミュニティへの積極的な貢献を重視してきました。彼が加わることで、当社の社員参加、フィランソロピー、寄付などのプログラムに新たな重点が置かれるものと期待しています」

ウォーカーは米ミズーリ州スプリングフィールドのドルーリー大学で経営学と経済学の学士号を取得しています。ユナイテッドウェイ シリコンバレーに加わる以前は、SBC コミュニケーションズ/パシフィックベルの渉外担当ジェネラルマネージャーと、サウスウェスタンベル テレフォンカンパニーの渉外およびコミュニティリレーションズ担当エリアマネージャーを務めました。現在はオコナー病院、センター フォー エクセレンス イン ノンプロフィッツ (CEN)、ジュニア リーグ オブ サンノゼといった団体の役員や諮問委員に名を連ねるほか、サンノゼ警察財団の創設委員と、ユナイテッドウェイズ オブ カリフォルニアの創設委員兼プレジデントも務めています。

アプライド マテリアルズは、Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーとして、半導体デバイス、フラットパネルディスプレイ、太陽電池などの製造装置ならびに、サービス、ソフトウェア製品を幅広く提供し、ナノマニュファクチャリングテクノロジーを人々のライフスタイル向上に役立てています。

詳しい情報はホームページ：http://www.appliedmaterials.com/news/index_6.html (日本語) でもご覧いただけます。

このリリースは10月26日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は1979年10月に設立。大阪支店ほか15のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
コーポレート マーケティング部 : 平澤 美香 (Tel: 03-6812-6807 / Fax: 03-6812-6833)
ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>
